

2012年7月31日

生駒市長 山下 真 殿

L A S - E 判定委員会

委員長 寺西 隆一
副委員長 山本 誠
委員 西野 雅也
委員 杉本 裕明
委員 西脇 居則

LAS-E判定結果について

1. 申請自治体

奈良県生駒市

2. 申請類型区分

第1ステージ・第3ステップ

3. 合否判定結果

L A S - E 判定委員会において、上記類型区分において規格に準拠しているかどうかを討議した結果、貴自治体の取り組みを次のように判定しました。

合格

なお、所見につきましては、別紙で通知いたします。

生駒市 判定所見

総合所見

<全体評価>

生駒市の環境に関する取り組みがLAS-E第1ステージ・第3ステップの規格に準拠しているか、また監査チームが適正に監査を行っているかについて討議した結果、合格と判定しました。共通実施項目監査では良好な結果となっており、また独自目標監査も適正に実施されていることから、合格と判定しました。

<良かった点>

引き続き、LAS-Eの監査を通じて市民と市の職員がコミュニケーションを図られていると思われま。エコネット生駒というパートナーシップ組織が存在し、それを中心に市民と市の協働活動が行われていることは、今後第2ステージ、第3ステージと進んでいく上での重要なインフラ（基盤）となります。生駒市にはそのような土台ができていることが、監査の結果からも読み取れます。

また今回、教育・保育部門にもLAS-Eの対象が拡大し、2年目で全公共施設での取り組みが実施されましたが、今回初めて取り組んだ学校等で地域を巻き込んだ優れた取り組みがいくつか見られたことは評価できます。

<総合コメント>

以上のことから、生駒市は、すでにLAS-Eの第2ステージ相当の力を持っていると考えられます。早期に第2ステージステージアップを目指すことを期待します。さらにエコネット生駒のようなテーマ型の組織の活動が、自治会のような地域型の組織とうまく融合した活動に発展し、第3ステージへのステップアップの足がかりとなっていくことを期待します。

個別所見

- ・一斉閉庁については判定委員の評価が分かれました。市民サービスの水準維持に配慮しつつ、市民によりわかりやすくその意義を説明するよう一層ご尽力ください。
- ・施策の有効性について、外部の専門家の意見をよく聞き、目的からずれた施策になっていないかのチェックを心がけてください。